# 岩手教区報

第371号
立教186年11月1日
天理教岩手教務支庁
盛岡市馬場町3-40
TEL 019-622-7962
FAX 019-623-9597

## 宗教教誨とは

主事・集会員　中田祥浩

先日、一人の男性が教会を訪ねて来ました。北海道にある刑務所を出所して、群馬まで歩いている道中、服役中に「宗教教誨」で天理教の話を聞いたことを思い出して立ち寄ったとのことでした。

この「宗教教誨」とは、聞き慣れない言葉かと思います。「教誨」とは教え諭すという意味であり、刑務所では各宗派から選任された教誨師と呼ばれる宗教家が、それぞれの教えに基づいて受刑者の改善更生や心情の安定、あるいは社会復帰の手助けとなる活動をボランティアで行っており、この活動を「宗教教誨」といいます。それは『日本国憲法』の「信教の自由」により、強制ではなく受刑者本人の欲求に応えるものとして、自ら宗派を選び教誨を受ける形となっています。また、教誨師は宗教教誨だけでなく、特定の教義を出さない教養講話や、入所時または出所前の指導などの講師もつとめ、広く受刑者の矯正に関わっています。

歴史を遡れば、宗教教誨は明治5年に真宗大谷派の僧侶が巣鴨監獄や名古屋監獄で、在監者への説教を行なったことが始まりとされ、明治14年に「教誨師」という言葉が誕生し、法令に基づく宗教教誨制度が成立しました。そして昭和21年には神道、仏教、キリスト教などに対して教誨師の派遣要請がなされ、幅広い宗派の教誨師が活動することになります。その数と割合は、令和3年4月1日現在の「公益財団法人全国教誨師連盟」の発表によると、仏教系1千177名（六五・三％）、キリスト教系248名（一三・八％）、神道系217名（一二％）、諸教160名（八・九％そのうち天理教は159名）となっています。数を見てお分かりのように、諸教のほとんどは天理教の教誨師です。いかに信者数が多い教団であろうが、国から認められ、依頼を受けなければ、教誨師を派遣する事はできません。それを考えますと、天理教が伝統的宗教と並び教誨師という尊い役割を任されていることは、何より誇らしいことです。なお、岩手県は15名の教誨師が在籍し、天理教は2名。盛岡少年刑務所と盛岡少年院で活動をしています。

私も昨年より、教誨師を40年勤めた父親からその任を引き継ぎ、未熟ながらつとめさせて頂いておりますが、天理教の代表と考えると責任は重く、施設の門をくぐるたびに身の引き締まる思いです。件（くだん）の男性が、出所後に天理教を思い出して教会に立ち寄ってくれたように、私も天理教の教えを受刑者の心に残せるような教誨師を目指し、日々奮闘努力の最中です。

教祖140年祭



## 立教186年「全教一斉にをいがけデー」

### ～県内各地で布教実動～

三陸支部

花巻支部

県南支部

盛岡支部

花巻支部

二戸支部

盛岡支部

### 行事予定――【11月分】

1日　役員会（10時）
5日　第16回陽気フォーラム（10時）
7日　婦人会例会（10時）
11日　「まなびば」（13時～12日）
〃　女子青年例会（10時）
16日　災救隊支部幹部研修会（12時）
18日　学生担当委員会例会 zoom（19時30分）
24日　青年会例会 zoom（19時）
28日　少年会例会（12時）
30日　役員会（10時30分）

奥州支部

県南支部

## 第１回「ようぼく一斉活動日」岩手教区会場一覧

開催日　立教186年12月２日（土）
会　場　九戸支部　種市港分教会　13時
二戸支部　荒澤分教会　10時
盛岡支部　教務支庁　９時45分
三陸支部　花宮古分教会　10時
花巻支部　花巻分教会　13時
奥州支部　岩栄原分教会　10時
県南支部　千厩分教会　13時
内　容　おつとめ、諭達拝読、教会本部メッセージ、深谷善太郎先生講話（ビデオ）
参加御供　３００円（中学生以下不要）

## 「仙台矯正管区教誨師研修岩手大会」開催さる

去る10月12日（木）、ホテルメトロポリタン盛岡にて「仙台矯正管区教誨師研修岩手大会」が開催され、東北６県の各宗派の教誨師が参集し研修に励んだ。

教会本部からは中田善亮表統領が来賓として臨席され、大会の後に催された天理教教誨師の情報交換会では、懇親を深めながら日頃の教誨活動などについて語り合い、有意義な時間を過ごした。

また開催県として、岩手教区の加藤昌弘教誨師、中田祥浩教誨師は、大会スタッフとして役目に当たった。

# 青年会

## 「健康感謝わんこそば大会」報告

教区青年会は、９月17日（日）、教務支庁を会場に「健康感謝わんこそば大会」を開催し、会員ら28人が参加した。

村松義朗委員長の挨拶のあと、高橋邦和主事より「わんこそばを食べることを通し、健康な身体をお借りしている喜びを感じよう」とのお話があり、続いてわんこそば大会が催された。１分間の時間制限のなか、３人ずつのタイムアタック戦が行われ「はい、どんどん」の掛け声とともに参加者が順次挑戦し、記録が更新される度に一同大盛り上がりとなった。なお結果は「まなびば」事前研修会で来庁中の学生担当委員会の稲葉和樹先生が26杯で優勝された。

大会後、屋外にて、和やかにバーベキューで会食し、参加者同士の親睦を深めた。

# 少年会

## 「わかぎの集い」報告

教区少年会は、９月30日（土）、教務支庁を会場に「わかぎの集い」を開催し、中学生11人、小学生２人、担当者９人、合計22人が参加した。

午前は、自己紹介を兼ねてのゲームで参加者の気持ちがほぐれた後、おつとめ総会に向けて、祭儀式とおつとめの練習に励んだ。昼食は、担当者が準備したバーベキューに舌鼓を打ち、楽しいひとときを過ごした。午後からは、教務支庁内の清掃ひのきしんに汗を流し、10月29日のおつとめ総会で再会することを約束し、解散となった。

# 学生担当委員会

## 「道の学生ひのきしんデー」報告

教区学生会は、９月18日（月・祝）、教務支庁及び盛岡市大通りを会場に、「道の学生ひのきしんデー」を実施し、大学生５人（内本会派遣２人）が参加した。

はじめに、﨑山陽平教区学生会委員長から「全国の道につながる学生が、時を同じくひのきしんに励む姿を教祖にご覧頂き、お喜び頂けるよう頑張りましょう」との挨拶があり、続いて、盛岡市大通りに移動し、ゴミ拾いのひのきしんをさせて頂いた。教務支庁に戻り、ゴミの分別を済ませた途端に大雨に見舞われ、親神様の不思議な御守護を実感する一幕もあった。

その後、昼食と簡単な交流行事を行って親睦を深めた。最後に﨑山委員長は、「12月の学生会総会に一人でも多くの学生が参加してくれるよう、声がけと準備をしっかりと進めたい」と話し、解散となった。

## 「まなびば」事前研修会報告

教区学生担当委員会は、10月16日から17日にかけて、教務支庁を会場に、高校生の集い「まなびば」事前研修会を開催し、担当委員ら８人が参加した。講師として学生担当委員会高井義誠委員と稲葉和樹本部スタッフが来庁した。

本研修会は、まず受講者が「まなびば」のプログラムを体験し、その後、進め方や注意する点、学生への心配りなど細やかなところまで学び、お道の教えへとつなげていく手法を学ばせて頂いた。

受講者からは「学生でなくても十分楽しく教理について学ぶことが出来た」「学生だったらもっと心に残る体験が出来ると思う」との声が聞かれるなど、本番に向けて有意義な研修会となった。

## 高校生の集い「まなびば」【11月11日・12日】

教区学生担当委員会は、11月11日から12日にかけて、高校生の集い「まなびば」を左記の通り開催します。教会長や布教所長の子弟をはじめ、広く学生への声掛けをお願いします。

記

日　時　11月11日（土）13時集合
　　12日（日）14時解散
会　場　教務支庁
対　象　中学生、高校生、大学生、専門学校生
内　容　グループワーク、おつとめ練習、他
持ち物　ハッピ、着替え、宿泊に必要な物

# 災救隊

## 「支部幹部研修会」【11月16日】

災救隊岩手教区隊は、左記の通り清掃ひのきしんと例会を主として「支部幹部研修会」を実施します。

各支部から班長はじめ、隊員若干名の参加をお願いします。

記

日　時　11月16日（木）12時集合
参加費　１０００円
内　容　教務支庁内外の清掃、例会、備品整理等